

令和5年度 シラバス【第3学年】

教科名		国語		科目名	現代文B			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編現代文B			
3	必修	3	90	補助教材	新編現代文B 学習課題ノート			
授業の概要		・随筆、評論の読み方を学習し、的確な理解や論理的な文章を読解する能力を養成します。 ・小説の読み方を学習し、場面の情景や登場人物の心情を読解する能力を育成します。						
学習到達目標		・文章に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取り、人間や社会について考察できる。 ・人物の行動や心情を表現に即して把握し、人間の様々な感情や認識について考察できる。						
標準的な到達レベル		・筆者の見方、感じ方、考え方を表す表現を抜き出し、論理の展開に沿って整理することができる。 ・人物の行動や心情が表れている表現を抜き出し、文章の流れに従って整理することができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	授業姿勢	課題				合計
総合評価割合	50	10	20	20				100
関心・意欲・態度			20					20
話す・聞く能力								0
書く能力				10				10
読む能力	30			10				40
知識・理解	20	10						30
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	・文章を正確に読むこと、聞くこと、自分の考えを場面に応じて的確に話すこと、書くことができる基礎的な国語力を養成します。							
キャリア教育との 関連付け	・文章を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広げ深めるとともに、人間の生き方や社会のあり方について考える態度を身につける。							

- 1 -

教科名		国語		科目名	古典B			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 改訂版標準古典B（第一学習社）			
3	選択	4	120	補助教材	巻頭増補版 最新国語便覧（浜島書店）			
授業の概要		2学年で習得した古典読解の基礎的な力を基に、より多くの古典作品に触れることで、作品を鑑賞する能力と感性を養う。さらに、文化の背景にある生活習慣にも目を向け、多面的な理解を目指す。						
学習到達目標		人物の行動や心情を読み取り、それをもとに自身の考えを展開することができる。 我が国の伝統と文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度が身についている。						
標準的な到達レベル		古典作品や古典特有の表現について興味を持ち、辞書や辞典を用いて調べ学習ができる。 これまで学習してきた基本的な知識を活用し、より深く古典に親しむ態度が身につくことを目指す。						
観点別評価（％）								
	定期試験	課題	授業姿勢	小テスト	提出物			合計
総合評価割合	50	20	10	10	10			100
関心・意欲・態度			5		5			10
話す・聞く能力								0
書く能力		10						10
読む能力	30	5	5	5	5			50
知識・理解	20	5		5				30
学習上の留意点								
求められる力（学び直し）	古典における読み・書きの基本的知識および、日本古来よりある文化に関する知識の習得。 思想や感情を読み取り、人間・社会・自然などについて考察する力。							
キャリア教育との関連付け	古典に世界に触れ、ものの見方考え方を広げ深めるとともに、古典の学習に主体的に取り組むこと によって、一層古典に親しむ態度や、我が国の伝統と文化を尊重する態度を身につける。							

- 2 -

教科名		国語		科目名	実用国語			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書				
3	選択	2	60	補助教材	改訂版プレゼミ総合国語（浜島書店）			
授業の概要		辞書を活用しながら、問題集での演習を通して語彙を増やしたり、目的や場に応じた言葉遣いや文体を身につけたりすることで、表現する能力を向上させる。						
学習到達目標		言葉の持つ意味を正確に理解し、組み合わせながら的確に表現できること。現代用語や慣用句などを巧みに取り入れた効果的表現ができること。						
標準的な到達レベル		基礎的な語彙の一次的意味を習得する。自分で調べ、簡潔に説明できる。基礎的な 同音異義・同訓異字を正しく使い分けられる。						
観点別評価（％）								
	小テスト	授業姿勢	提出物	確認テスト				合計
総合評価割合	10	20	40	30				100
関心・意欲・態度		10	10					20
話す・聞く能力		10						10
書く能力			10	10				20
読む能力			10	10				20
知識・理解	10		10	10				30
学習上の留意点								
求められる力（学び直し）		さまざまな場面で使用し得る基本的な語彙や言い回しを実用的に用いる力。 学習ツールを用いて調べたり、まとめ伝える力。						
キャリア教育との関連付け		適切な言葉の選び方や敬語表現、基本的な定型文、手紙の書き方など、社会人としての素養の基礎を身につける。						

- 3 -

教科名		地歴		科目名	世界史A		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新版 世界史A (実教)		
3	必修	2	60	補助教材	新版 世界史A 演習ノート(実教)		
授業の概要		後期は古代オリエント、東アジア世界、イスラーム世界、ヨーロッパ世界の形成と発展等について前近代史の基礎的事項や歴史的事項の概要を中心に学習します。前期は欧米における近代社会の成長、帝国主義とアジアの動向、二つの世界大戦、冷戦と現代の世界等について近現代史の基礎的事項や歴史的事項の概要を中心に学習します。					
学習到達目標		世界の歴史(特に近現代史)の基礎基本的事項を中心に歴史的思考力を身につける。					
標準的な到達レベル		世界の歴史(特に近現代史)の基礎基本的事項や流れを理解する。					
観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	授業姿勢	提出物			合計
総合評価割合	70	5	15	10			100
関心・意欲・態度		5	5	5			15
思考・判断・表現	10		5	5			20
資料活用・技能	10		5				15
知識・理解	50						50
							0
学習上の留意点							
求められる力 (学び直し)	中学で学んだ世界史の基礎基本的事項を重点的に復習しながら近現代史を中心に学び直しをします。						
キャリア教育との 関連付け	世界史を学ぶことによって、過去を見つめて未来に向かって生きていくための力を養います。						

- 4 -

教科名		地歴		科目名	日本史B			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高校日本史 改訂版			
3	選択	2	60	補助教材	一問一答 日本史 第3版			
授業の概要		中世から近世への武家社会の進展と文化の展開と、現代に至る国際社会の状況と近代化の推進について、政治史の基礎的事項や歴史的事項の概要を中心に学習する。						
学習到達目標		わが国の歴史についてこれまでの時代の流れを理解し、基礎・基本的内容を身につける。						
標準的な到達レベル		現代にいたる歴史の基礎的・基本的事項や流れについて理解したことを、副教材や資料をもとに書く・話すことで表現できる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢					合計
総合評価割合	70	20	10					100
関心・意欲・態度			10					10
思考・判断・表現	10	10						20
資料活用・技能	10	10						20
知識・理解	50							50
								0
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		これまでの学習で学んだ世界史的内容と日本史の関連性を、国際的視野の中で確認と復習を行い、中世～近代史の基本事項を身につける。						
キャリア教育との関連付け		日本の歴史を学ぶことを通じて、事実にもとづいた歴史認識を身につけ、国際社会の一員として生きていくための力を養います。						

- 5 -

教科名		地歴		科目名	地理B			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新詳地理B(帝国書院)			
3	選択	4	120	補助教材	新詳高等地図(帝国書院)			
授業の概要		・ヨーロッパ、ロシア、南北アメリカ、オセアニア、日本の地誌について概観する ・世界の気候を大まかに理解し、気候変動が与える影響についても考えさせる						
学習到達目標		・2年生の学習を踏まえ、世界各地の地誌について、作業も行い理解を深めさせる ・日本を含めた気候を大まかに理解し、昨今の気候変動についても考えさせる						
標準的な到達レベル		世界の諸地域の自然環境や人々の生活の特色を理解しているか						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢					合計
総合評価割合	80	10	10					100
関心・意欲・態度	10		10					20
思考・判断・表現	10	5						15
資料活用・技能	10							10
知識・理解	50	5						55
								0
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	これまでの学習で学んだ気候の確認と復習を通じて、世界全体の地理的・基本的事項を身につけ、地球規模の諸課題を考察する。							
キャリア教育との 関連付け	ヨーロッパやアメリカなどの基本的地誌を学び、小グループに分けて話し合わせることで理解を深めさせ、国際社会の一員として生きていくための力を養う。							

- 6 -

教科名		公民		科目名	政治経済			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 新政治・経済 新訂版(清水書院)			
3	選択	2	60	補助教材	なし			
授業の概要		基本事項をしっかり理解するとともに、現実の社会の出来事を原理・原則と比較して理解した上で、懐疑的な見方ができる能力をつけさせる。新聞なども活用し、小テストを実施する。						
学習到達目標		参政権を持つ公民として時事的問題に目を向け、主体的に理想や理論・価値観を構築することができる。						
標準的な到達レベル		基礎的な用語などを理解することができ、ニュース(新聞・テレビ・ラジオ)に興味を持って接することができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	提出物	課題	授業姿勢			合計
総合評価割合	80	5	5	5	5			100
関心・意欲・態度					5			5
思考・判断・表現	10	5						15
資料活用・技能	10		5	5				20
知識・理解	60							60
								0
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)	基本的な語句の理解、集団生活の中での政治経済のあり方に対する考えの構築。課題の提出や授業に対する積極的な参加など当たり前のことをできるようにする。							
キャリア教育との関連付け	一般常識などを身につけ、自分の考えを持ち、それを発表する力を身につける。自ら課題を見つけ、それを解決する方法を身につける。							

- 7 -

教科名		数学		科目名	数学Ⅲ			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	数学Ⅲ Standard			
3	選択	6	180	補助教材	ニューアシスト 新編 数学Ⅲ			
授業の概要		「数学Ⅱ」の内容を発展、充実させるとともに内容相互の関連を重視しながら体系的に解析学を学習する。理系大学進学希望者、数学に強い興味関心を持つ者対象。						
学習到達目標		平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばし、それらを積極的に活用する態度を育てる。						
標準的な到達レベル		①2次曲線の簡単な特徴や複素数平面の意味を理解し活用することができる。 ②関数を微分積分することで変化の様子を捉え、簡単な面積および体積を求めることができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	課題	授業姿勢					合計
総合評価割合	60	20	20					100
関心・意欲・態度		5	20					25
数学的な見方や考え方	15	5						20
数学的な技能	20	5						25
知識・理解	25	5						30
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	数学ⅠおよびⅡの全範囲、ならびに数学Aの「場合の数と確率」、数学Bの「数列」「ベクトル」の知識が定着していること。既習として取り扱う。							
キャリア教育との 関連付け	様々な事象に対し、自ら筋道を立てて考察していく。このことは身の回りの課題(必ずしも正解があるわけではない)について粘り強く考え、他者を説得する礎となる。							

- 8 -

教科名		数学		科目名	数学B			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編 数学B（東京書籍）			
3	必修	3	90	補助教材	ニューアシスト 新編 数学Ⅱ+B（東京書籍）			
授業の概要		1年間通して、数学Bの第1章 数列、第2章 ベクトル の2領域を学習する。 クラス編成はホームルーム単位で行う。						
学習到達目標		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を培う。						
標準的な到達レベル		基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方のよさを認識する。						
観点別評価（％）								
	定期試験	提出物	課題	授業姿勢				合計
総合評価割合	70	30						100
関心意欲		30						30
知識理解	20							20
技能表現	30							30
思考判断	20							20
学習上の留意点								
求められる力（学び直し）		中学校ならびに数学Ⅰでの既習事項を必要とする。毎回の授業における学習内容の理解に心がける。						
キャリア教育		数学Bでは、数列とベクトルの分野について学ぶ。複雑なものを単純なものに分けて理解していくことや、いくつかのものをまとめて扱う力を身につける。						

- 9 -

教科名		数学		科目名	総合数学		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし		
3	選択	4	120	補助教材	アクセスノート 数学Ⅰ+A(東京書籍)		
授業の概要		数学Ⅰ・Aについて補助教材の問題集を利用して授業を展開します。					
学習到達目標		上級学校進学のために、解法の学び直しを通じて、高校数学の更なる定着と入試問題を解く学力を高めます。					
標準的な到達レベル		数学Ⅰ・Aについて公式などの基礎的な知識の習得と、活用ができるようにします。					
観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	提出物	授業姿勢			合計
総合評価割合	60	20	10	10			100
関心・意欲・態度		5	5	10			20
数学的な見方や考え方	20	5	5				30
数学的な技能	20	5					25
知識・理解	20	5					25
学習上の留意点							
求められる力 (学び直し)	数学Ⅰ・Aの基本的な事項が身に付いていることが必要です。 使用済の教科書、副教材を再度利用して家庭学習において復習に力を入れてください。						
キャリア教育との 関連付け	上級学校で学ぶ専門科目の中には、高校数学の解法力が必要とされるものが多いです。問題演習を通じて、「課題を理解し、解決への必要なアプローチを考え、解を導く」ことを目標に、考える力を養います。						

- 10 -

教科名		数学		科目名	実用数学		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし		
3	選択	4	120	補助教材	演習と整理 完成ワーク 数学(増進堂)		
授業の概要		これまでの既習事項(主に数学Ⅰ・A)の学び直しや、就職試験で問われる問題を取り扱う。					
学習到達目標		就職試験に対応できるように学び直しや数学的な考え方を養い、学力の定着を図る。					
標準的な到達レベル		既習事項の基礎公式や基礎計算能力が定着し、解を導き出すことができる。					
観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	提出物	授業姿勢			合計
総合評価割合	40	20	35	5			100
関心・意欲・態度		5	20	5			30
数学的な見方や考え方	10	5	5				20
数学的な技能	15	5	5				25
知識・理解	15	5	5				25
学習上の留意点							
求められる力(学び直し)	数学Ⅰ・Aの基本的な事項が身についた上で授業が展開されます。もう一度教科書などを用いて復習を行ってください。						
キャリア教育との関連付け	数学的な考え方を養い、それを説明することができる。実生活の中の事象も数学的に捉えることができる。						

- 11 -

教科名		理科		科目名	物理		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	物理 新訂版(実教出版)		
3	必修	4	120	補助教材	サンダイヤル ステップアップノート物理 改訂版(啓林館)		
授業の概要		教科書・問題集を中心に、実験・実習、小テストを行う。単元ごとに小テストを実施する。					
学習到達目標		物理的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解を深めさせ、科学的な自然観を見方や考え方を育成する。					
標準的な到達レベル		物理の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。自らの考えを的確に表現できる。科学的な自然観を身につけている。					
観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	ファイル提出	課題			合計
総合評価割合	60	20	10	10			100
知識・技能	30	10					40
思考・判断・表現	30	5					35
主体的に取り組む学習態度		5	10	10			25
学習上の留意点							
求められる力(学び直し)	物理的現象を理解する。物理の基本的な原理や法則を理解し、さまざまな現象にあてはめて考えることができる。自然災害に対応できる知識を獲得する。						
キャリア教育との関連付け	各班毎に発表させる。実験のレポートを作成させる。意見を発信する力、異なる意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。						

- 12 -

教科名		理科		科目名	化学			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編化学(数研出版)			
3	必修	2	60	補助教材	フォローアップドリル「化学 物質の状態(数研出版)」 「化学 熱化学・反応速度・化学平衡(数研出版)」 「化学 無機化学(数研出版)」 「化学 有機化合物(数研出版)」			
授業の概要		理論化学・有機化学・高分子化合物についての内容を、実験を交えながら理解させる。また、補助教材等も活用し、基礎的・基本的な言葉の理解や計算ができるようにする。						
学習到達目標		化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。また、実験・観察を通して科学的な自然観を持ち、自然の事物・現象を分析的・総合的に考察する能力を育成する。						
標準的な到達レベル		無機物質や有機化合物、高分子化合物について、物質の構造や反応、性質をを微視的レベルで考えることができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	提出物	協働活動				合計
総合評価割合	60.0	16.7	13.3	10.0				100
知識・技能	80	20						100
思考・判断・表現	60	10	20	10				100
主体的に取り組む学習態度	40	20	20	20				100
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	・書き順や形など、文字を正確に書く力 ・重点的に、掛け算・割り算や小数・分数の計算を正確にする力							
キャリア教育との 関連付け	・化学がさまざまな場面で役に立っている、あるいは役に立つという態度を育成する。 ・知識を活用し、さまざまな問題を解決する能力を育成する。							

- 13 -

教科名		理科		科目名	生物			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高等学校 改訂 生物(第一学習社)			
3	選択	4	120	補助教材	改訂 スタディノート生物(第一学習社)			
授業の概要		細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現、生殖と発生、生物の環境応答、生物群集と生態系、生物の進化、生物の系統などについて学習する。						
学習到達目標		生物や生命現象への関心を高め、科学的に探究する能力と態度を養うとともに、生物学の概念や原理・法則、最新の知見について深く、系統的に理解する。						
標準的な到達レベル		生物学の基本的な理念や原理・法則の理解を深め、必要な実験・観察などを行ないながら、科学的に探求しようとすることができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	提出物	協働活動				合計
総合評価割合	60	15	15	10				100
知識・技能	30	10	5					45
思考・判断・表現	30	3	5	4				42
主体的に取り組む学習態度		2	5	6				13
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)	生物基礎で学習した生物の基本的な概念や原理・法則を理解し活用できる。							
キャリア教育との関連付け	・基本的な概念や原理・法則を用いて思考する力を身につけ、論理的に自己を表現する能力を養う。 ・実験等を通して、協働的な学習を行いコミュニケーション力を身につけ、多面的・総合的に判断する態度を養う。							

- 14 -

教科名		理科		科目名	地学基礎			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	地学基礎新訂版(実教出版)			
3	必修	2	60	補助教材	地学基礎新訂版 演習ノート 教科書完全準拠(実教出版)			
授業の概要		教科書を中心に、実験実習、小テストを行う。单元ごとに小テストを実施する。						
学習到達目標		地球をグローバルな視点でとらえる。大気や海洋の現象を生活に及ぼす影響と関連付けて考える。北海道特有の気候に関して考える。宇宙の性質と探究方法の理解を深める。						
標準的な到達レベル		地学の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。自らの考えを的確に表現できる。科学的な自然観を身につけている。						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢					合計
総合評価割合	60	10	20	10				100
知識・技能		5	10	5				20
思考・判断・表現	10		5					15
主体的に取り組む学習態度	10		5					15
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)	地球や宇宙について科学的に現象を理解する。地学の基本的な原理や法則を理解し、さまざまな現象にあてはめて考えることができる。自然災害に対応できる知識を獲得する。							
キャリア教育との関連付け	各班毎に発表させる。実験のレポートを作成させる。意見を発信する力、異なる意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。							

- 15 -

教科名		理科		科目名	化学基礎研究			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高校化学基礎新訂版（実教出版）			
3	選択	2	60	補助教材	アクセスノート化学基礎（実教出版）			
授業の概要		化学基礎の全分野を改めて学習し演習することで、化学の基本的な概念や原理・原則を理解する。						
学習到達目標		物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。						
標準的な到達レベル		化学の基本的な概念、原理・法則と日常生活との関連性を見出し、物質とその変化に関心をもつことができる。						
観点別評価（％）								
	定期試験	小テスト	提出物	協働活動				合計
総合評価割合	60.0	16.7	13.3	10.0				100
知識・技能	80	20						100
思考・判断・表現	60	10	20	10				100
主体的に取り組む学習態度	40	20	20	20				100
学習上の留意点								
求められる力（学び直し）	身の回りの化学的な現象と化学の基本的な概念・原理・法則との関連性を見出し、化学的知識を生活に活用できる。							
キャリア教育との関連付け	基本的な概念や原理・法則を用いて思考する力を身につけ、多面的・総合的に判断する態度を養う。							

- 16 -

教科名		理科		科目名	生物基礎研究			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	高校生物基礎 新訂版(実教出版)			
3	選択	2	60	補助教材	四訂版リードLightノート生物基礎(数研出版)			
授業の概要		生物基礎の全分野を改めて学習し演習することで、生物学の基本的な概念や原理・原則を理解する。						
学習到達目標		生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。						
標準的な到達レベル		生物学の基本的な概念、原理・法則から日常生活や生物としての自分自身に関心をもつことができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	提出物	協働活動				合計
総合評価割合	60.0	16.7	13.3	10.0				100
知識・技能	80	20						100
思考・判断・表現	60	10	20	10				100
主体的に取り組む学習態度	40	20	20	20				100
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)	日常生活の出来事や生物としての自分自身に興味関心をもち、教科書に出てくる用語を理解し活用できる。							
キャリア教育との関連付け	基本的な概念や原理・法則を用いて思考する力を身につけ、多面的・総合的に判断する態度を養う。							

- 17 -

教科名		保健体育		科目名	体育			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）			
3	必修	2	60	補助教材				
授業の概要		様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。 各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける						
学習到達目標		各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。 自主的・自律的に集団行動をとることができる。						
標準的な到達レベル		運動に興味・関心を持ち、自らの体力を高めようすることができる。 各種目の基礎的・基本的な技能を習得することができる。						
観点別評価（％）								
	スキルテスト	授業姿勢	グループ学習	各場面の観察	ワークシート			合計
総合評価割合	30	20	15	25	10			100
関心・意欲・態度		10	5	10	10			35
思考・判断		10	5	5				20
運動の技能	30			5				35
知識・理解			5	5				10
学習上の留意点								
求められる力 （学び直し）	自らの体力を高めようとする能力（方法を理解すること、実践すること） 各種目の基本的なルールの理解と基本的な技術の習得							
キャリア教育との 関連付け	ソーシャルスキル（挨拶・礼儀・コミュニケーション能力）の向上 生涯にわたってスポーツに触れるための基盤を作る（プレイだけでなく観戦・応援）							

- 18 -

教科名		保健体育		科目名	トレーニング			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書				
3	必修	2	60	補助教材				
授業の概要		トレーニングの原理や原則、基本的な理論を学ぶと同時に、各種のトレーニングを実際に行い、体力の向上を目指します。評価は実技の取組状況や計測したタイム、ワークシートや小テストを用いて行います。						
学習到達目標		トレーニングの原理や原則、基本的な理論を理解し、説明することができる。各種トレーニングの意義や効果、ポイントをふまえてトレーニングの実技を行うことができる。						
標準的な到達レベル		トレーニングの原理や原則、基本的な理論やキーワード等を理解している。健康や安全に配慮しながら各種のトレーニングを行うことができる。						
観点別評価(%)								
	レポート	授業姿勢	グループ学習	ワークシート	小テスト			合計
総合評価割合	20	20	20	20	20			100
関心・意欲・態度	5	5	10	5	10			35
思考・判断	5	5	5	5	5			25
運動の技能	5	10						15
知識・理解	5		5	10	5			25
								0
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)		安全に留意し、周囲の生徒と協力しながらトレーニングの実技、計測、記録等を行います。基本的なトレーニング理論の学習にも積極的に取り組んでください。						
キャリア教育との 関連付け		前向きな姿勢でトレーニングに取り組むことで、自らの課題や変化に気づくことができる力、また安全や健康に留意しながらトレーニング計画を立案できる力を養います。						

教科名		外国語		科目名	コミュニケーション英語Ⅲ			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	Power On Communication Ⅲ(東京書籍)			
3	選択	4	120	補助教材				
授業の概要		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。						
学習到達目標		単純な構文ならば、身近な話題、内容、物語などを理解することができる。また、メモなどを利用すれば、身近な話題や内容などを単純な文で表現することができる。						
標準的な到達レベル		簡単な語句や文を使って伝えたいことを表現できる。相手がゆっくり話し、繰り返してくれるなら、日常生活に関連する内容を理解でき、やり取りをする事ができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	Pテスト	提出物	授業姿勢			合計
総合評価割合	60	10	10	10	10			100
関心・意欲・態度		5		10	10			25
外国語表現の能力	10		5					15
外国語理解の能力	15	5	5					25
知識・理解	30	5						35
								0
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		既習事項である英検3級レベルまでの語彙力・文法力を着実に身に付ける。高校段階で学習した内容を活用したり、わからないことを自ら調べようとする態度を身に付ける。						
キャリア教育との関連付け		授業活動を通して、自分の意見を発信する力、自分と異なる人の意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。						

教科名		外国語		科目名	英語総合			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし			
3	選択	4	120	補助教材	BIG DIPPER English Communication I ベーシックノート(数研出版)			
授業の概要		わかりやすい文章・内容を題材とし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、4技能(読む・聞く・話す・書く)をより一層高める。						
学習到達目標		学びなおしとして、ベーシックノートと辞書を使いこなし、4技能で伝え合う。本文の概要をとらえ、内容を意識しながら熟読し、本文を聴き取り、音読し、英語で表現して書くことにより、幅広い理解につとめる。						
標準的な到達レベル		教員の指示に従って与えられた活動を行い、協力しながらベーシックノートと課題プリントを仕上げ、パフォーマンステストや小テストにて応用することができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢	パフォーマンステスト	小テスト	ベーシックノート		合計
総合評価割合	60	10	5	5	10	10		100
関心・意欲・態度	10	5	5			5		25
外国語表現の能力	20			5		5		30
外国語理解の能力	20				10			30
知識・理解	10	5						15
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)		興味関心を持つテーマから基礎基本を復習し習得することで、英検3級レベルの英語力を身に付ける。						
キャリア教育との関連付け		授業活動を通して、自分の意見を発信する力、異なる意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。						

- 21 -

教科名		外国語		科目名	ベーシック・ライティング		
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし		
3	選択	2	60	補助教材	Step by Step 4 Skills 2 CEFR A2レベル		
授業の概要		英語4技能をバランス良く扱い、コミュニケーション能力の向上を目指す。 書く能力は、英検準2級やGTECのライティング問題をベースに、複数の理由を元に一定の時間で50～60語の英文を書けることを目標とする。話す能力は、定型文を覚える(リピートする)ところから始め、最終的には初めて聞く(見る)文章やイラストについて動作と理由の因果関係を説明できるなど、実用的なやりとりができることを目標とする。授業以外でも、オンライン(classroom)での情報・課題確認、動画視聴等、能動的に情報を得ることが求められる。					
学習到達目標		本校Can-Doリストに従い、年度始めはCEFR(セファール)A1レベル中級からスタートし、最終的にはCEFR A2レベル(概ね英検準2級ギリギリ合格レベル)を目標とする。					
標準的な到達レベル		・英語での説明 or 聞こえた(書かれた)英文に対する解答を導ける。※簡単な英語なら1回聞きでも ・(ペアワーク等を通し)自分の答だけでなく、他の答も参考にし、英語で話したり書いたりできる。					
観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	Pテスト	提出物	授業姿勢		合計
総合評価割合	50	10	20	15	5		100
関心・意欲・態度		5	5	10	5		25
外国語表現の能力	10		10	5			25
外国語理解の能力	20		5				25
知識・理解	20	5					25
学習上の留意点							
求められる力(学び直し)	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで行った表現活動の内容をベースとし、これまでに習った語彙・文法等の知識を生かして、積極的に自らの考えを表現しようとする力。						
キャリア教育との関連付け	ペア・グループワークなどを通して、自分の意見を発信する力、異なる意見を聞く力、自ら課題を見つけ、調べる力を養う。						

- 22 -

教科名		総合		科目名	ワールド・スタディーズ			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし			
3	選択	4	120	補助教材	【地歴科】新詳高等地図(全国書院) 【英語科】Oxford Read & Discover 3 Wonderful Water (数研出版)			
授業の概要		世界の現実に目をむけ、全ての人のために責任ある生き方をするのに必要な知識・技能・姿勢を身につけるための学習をする。地歴教員と英語教員が両分野の内容を相互に関連させながら授業を行う。授業の導入部分に地歴公民分野の内容を使い、生徒からの発信により時事ニュースの発表をさせ、表現力を培う。英語分野では英語テキスト(CEFR A1)で理解を深め、英語プレゼン等により発信力を高める。						
学習到達目標		人間の尊厳、世界の文化の多様性、地域各地に見られる貧困や格差等の現状・原因を理解し、それらの課題を解決方法等について互いに意見を出し合い模索することができる。						
標準的な到達レベル		学習内容や他者の意見を踏まえ、自分自身がどのように課題に関わっているかを理解し、どのように解決していくかを述べるができる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	授業姿勢	提出物	小テスト	プレゼン			合計
総合評価割合	30	20	20	5	25			100
関心・意欲・態度		20	10		5			35
思考・判断・表現	5		5		10			20
資料活用・技能	5		5		10			20
知識・理解	20			5				25
	(地歴)	※1(地歴)	(英語)	(英語)	※2(英語)			
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		これまでに学んだ地歴及び公民分野の知識を踏まえ、日本語・英語の両方を用いて積極的に自らの考えを表現しようとする力。						
キャリア教育との関連付け		教養を深め、正義・平等・人権などの必要性への気づきを促す。唯一絶対の回答がない課題に対し、自ら答えを見出していくプロセスを経験する。						

※1 ただし、地歴公民分野における提出物の評価観点を含む。

※2 授業外(オンライン視聴や個別指導等)での取組姿勢を一部含む。

- 23 -

教科名		商業		科目名	簿記(総合)			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新簿記 新訂版(実教出版)			
3	選択	2	60	補助教材	反復式学習と検定 簿記問題集 全商3級(実教出版) 反復式学習と検定 簿記問題集 全商2級(実教出版)			
授業の概要		昨年度と同様に商品売買取引について学習します。また、利害関係者への報告書類の作成手順を学習します。						
学習到達目標		日々の小テストを通じて、簿記の基本を理解するとともに、今年度実施される検定試験の合格を目指します。						
標準的な到達レベル		個人企業の扱う簿記、一連の取引と決算を理解する。						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢	課題				合計
総合評価割合	60	10	10	20				100
関心・意欲・態度			10					10
思考・判断・表現	20			10				30
技能								0
知識・理解	40	10		10				60
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)		報告書類を利害関係者にわかりやすく報告するために、迅速で正確な計算と丁寧な字で書いてもらいます。						
キャリア教育との関連付け		適正な会計処理を行うことが現在、企業人に求められており、実際の行動に結びつけることができる。						

教科名		商業		科目名	簿記(文系)			
学年	必修/選択	単位	総時数	使用教科書	新簿記 新訂版(実教出版)			
3	選択	4	120	補助教材	スピードマスター 精選簿記演習 3級(実教出版)			
授業の概要		商品売買取引について学習します。また、利害関係者への報告書類の作成手順を学習します。						
学習到達目標		日々の小テストを通じて、簿記の基本を理解するとともに、今年度実施される検定試験の合格を目指します。						
標準的な到達レベル		個人企業の扱う簿記、一連の取引と決算を理解する。						
観点別評価(%)								
	定期試験	提出物	授業姿勢	課題				合計
総合評価割合	60	10	10	20				100
関心・意欲・態度		5	10					15
思考・判断・表現	15			10				25
技能	15							15
知識・理解	30	5		10				45
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	報告書類を利害関係者にわかりやすく報告するために、迅速で正確な計算と丁寧な字で書いてもらいます。							
キャリア教育との 関連付け	適正な会計処理を行うことが現在、企業人に求められており、実際の行動に結びつけることができる。							

- 25 -

教科名		商業		科目名	情報処理			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	情報処理 新訂版(実教出版)			
3	選択	2	60	補助教材	全商 情報処理検定模擬問題集 3級(実教出版)			
授業の概要		ビジネスの諸活動における情報の意義や役割を理解し、情報をビジネスに積極的に活用する態度を身につける。コンピュータの基本的な仕組みやソフトウェアなどに関する基礎的な知識を習得し、目的に応じた機器の利用ができる。						
学習到達目標		コンピュータの操作方法を体得するとともに、7月/11月の全商ビジネス文書実務検定試験と9月/2月に実施される全商情報処理検定試験の合格を目指します。						
標準的な到達レベル		コンピュータの基本的な操作方法の体得と検定試験の合格を目指します。						
観点別評価(%)								
	定期試験	課題	授業姿勢					合計
総合評価割合	60	30	10					100
関心・意欲・態度			10					10
思考・判断・表現	10	10						20
技能	10	20						30
知識・理解	40							40
学習上の留意点								
求められる力 (学び直し)	表計算ソフト、ワープロソフト、プレゼンテーションソフトなどのアプリケーションを実際に操作方法を繰り返して行います。							
キャリア教育との 関連付け	進学先や就職先で必要となる基本的なソフトウェアの活用を図ることが出来る。							

- 26 -

教科名		家庭		科目名	子どもの発達と保育			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う(教育図書)			
3	必修	2	60	補助教材	子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合うワークシート(教育図書)			
授業の概要		子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得します。子どもの発達や子育てに関心を持ち、子どもに関わろうとする意欲や実践的な態度を身につけます。						
学習到達目標		子どもの発達特性や過程、保育に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身につけます。						
標準的な到達レベル		子どもの発達と保育に関心を持ち、地域の子育て支援に寄与できる力を育てます。						
観点別評価(%)								
	定期試験	作品実技	授業姿勢					合計
総合評価割合	40	50	10					100
関心・意欲・態度	10	10	10					30
思考・判断・表現	10	10						20
技能		20						20
知識・理解	20	10						30
								0
学習上の留意点								
求められる力(学び直し)	小・中学校で学習した技術・家庭や高校2年次の家庭基礎で学習した、保育分野の基本的な知識や技術を活用し、保育をめぐる課題を明確にし、主体的に解決する力を身につけます。							
キャリア教育との関連付け	自らの生活設計に応じて必要な子どもの発達と保育にかかわる知識や技術の基礎・基本を身につけます。グループ学習などをとおして自分の意見を伝え、人の意見を聞く力などを養います。							